

発 刊 に あ た っ て

福生市教育委員会教育長

町 田 倍 二

昭和48年度は、福生市の社会教育の歴史の中で非常に大きな意味を持つ年であったといえるでしょう。

その第1は、福生市民体育館の完成です。体育館は、市民の心とからだの健康をまもり育てる拠点として、福生市ではじめての社会教育機関として完成しました。

建物、職員、機能の3つの面で充実した施設として、これからの社会教育の中で果たす役割は、非常に大きいものがあります。

その第2は、社会教育課の誕生です。昨年まで6名であった職員が、10名増えて新たに課が生まれました。

その第3は、福生市立図書館の独立です。福社会館内の図書室が市立図書館として整備され、体育館内図書室が、分館として整備、開設されました。

その第4は、文化財保護の仕事が始まったことです。文化財保護条例に基づく専門委員の活動も始まりました。

これらの仕事は、今まで部分的に継続されてきた事業の上に立って、その飛躍的發展を願って始められたものです。

社会教育の仕事は、そのどれをとっても、一朝一夕にでき上る性質のものではなく、地道な積みあげの上に、いつか結果が生まれるといった類のものだと考えます。

このことから、これらの整備を機会に、更に、より一層、市民のみなさんとともに、福生市の文化の発展のために努力しなければならないと考えています。また、自明のことですが、学習や生活は、他人がやってくれるものではなく、自分でするものです。

この意味で、市民の皆様のご協力とご指導を切にお願いいたします。